

モデル事業名	食文化の伝承と交流による三戸町ふるさと再生事業
活動団体名	特定非営利活動法人三戸地域資源発掘会議おっほの会
ホームページ	http://www.ohho-club.jp/
所属/ 担当者名	ご担当者氏名（お問合せ先）西山
連絡先	電話番号、090-1939-0889 Eメールアドレス、dongu.2000@gmail.com
活動地域	青森県三戸町全域

● 活動地域の概要

1) 人口と世帯の推移と高齢化率

年々人口減少と高齢化率増加の一途をたどっている。

平成21年の人口12,278人が、平成22年3月末には12,110人178人の減少

高齢化率も平成17年29.9%から平成21年32.9%と増加（国勢調査及び三戸町調べ）

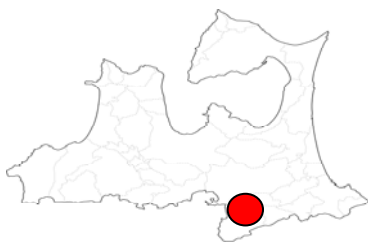
2) 教育施設 ・幼稚園 2 ・小学校 3 ・中学校 2 ・高校 1

4) 産業別事業所及び従業員 <事業所（従業員）>

総数	農業	建設業	製造業	情報通信
538 (4,331)	12 (374)	39 (414)	35 (586)	3 (12)
運輸業	卸売・小売業	金・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業
10 (199)	201 (1068)	8 (81)	5 (10)	54 (164)
医療・福祉	教育・学習支援	複合サービス	サービス業	公務
30 (447)	14 (174)	9 (171)	106 (454)	11 (172)

総務省統計局「事業所・企業統計調査報告」

【位置図】



【三戸町中心街全景】



【郷土料理せんべいかやき】

● 活動地域の課題

三戸町の人口は、平成17年の国勢調査では12,261人であり、減少傾向である。同町の平成2年から17年までの15年間の減少率では、県内過疎地域の平均よりも上回っている（三戸町15.1%、過疎地域平均12.1%）。また、産業の低迷を背景に若年層の人口流出傾向が見られ、平成17年の高齢化率は29.9%となり、これも県内過疎地域平均28.6%を上回っている。また、事業所・従業者数は、平成3年に720事業所・4,885人であったが、平成18年には538事業所・4,331人にまで落ち込んでいる。

このように、三戸町は高齢化・人口減少の進行や産業の低迷等課題を抱えており、それらの課題を解決するために、自然・伝統文化等地域資源を生かした取組を官民一体となって実施し、悪循環から好循環に転換することが求められている。

## ● 活動の内容

(全体)

三戸活性化プロジェクトチームの立ち上げ

三戸町住民によるWSを行い、地域住民による三戸未来像を掲げ、アクションプランを構築する。

アクションプランを実施に移すためのヒアリング調査を行う。

地方と都市の交流事業を定着させるための会場発掘を行う。

(直近1年間の進捗など)

平成21年12月末から事業開始し平成22年3月19日をもって終了しているが、以後三八地域県民局の協力の下三戸町のPR活動等に参加させていただいている。

## ● 活動の成果

- ・全体 (活動の成果、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入)
- ・さんのへ活性化プロジェクトチームに20～30代の青年たちが7名加わり、NPO法人おっほの会の構想に協働してくれことが、大きな成果と言える。
- ・都市間のヒアリング発掘調査の成果には、在京三戸会のフットワークの軽快さも大きな要因である。
- ・三戸町の特産品に関する要望も高いことが感じられた。その場限りの販売も大事であるが、参加者が購入したい際に購入できるような仕組みが必要。
- ・さんのへ活性化ワークショップに、高校生の参加が非常に積極的であり、年代を超えて意見交換ができた事は、情報の交換ができる機会でもあり、高校生の考えに共感が持てた。

### ・直近1年間の成果など

(活動の状況、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入)

・駅からハイキングや奥州街道ウォークなどを企画しガイドを実施している。三戸の自然や歴史を堪能し風情のある町並みが好評を得ている。私たちの活動が三八県民局から評価を受け、青森県知事とのまるごとトークに選んで頂けた。

・千代田プラットホームやなみへいで郷土料理を食べる会での成果を、他の地域で認められ、形を変えてではあるが実施する団体が増えている。



上 高校生の参加が場の雰囲気づくりに貢献  
下 旅行者関係に三戸町をPRするメンバー



## ● 今後の課題及び展望

### ・課題 (活動を通して発見された課題等を記入)

行政との温度差を痛感した事業であった。協働という言葉の意味するものは何か?地域の皆がより住みやすい地域にする為に協力する事ではないのか?改めて考えられる事業であった。

### ・展望 (今後の取組みや検討について記入)

アクションプラン実施に向かい、未だに着手できずにいた活動拠点整備に取り組むことが出来る様になった。民間の空工場をかり、そこに地域住民の居場所づくりを行い、そこを始点とし事業を進めていく予定である。

## ● その他 (自由記述)

今回の事業受託にあたり、多くのことを学ぶことが出来たと思える。このような事業を足がかりに独自の事業とし展開していきある程度の収益を上げていかなければ事業の継続はない。人・物・金、この3つが揃うことが継続である。